

令和5年度 第1回越前町地域公共交通活性化協議会

議事録

開催日時：令和5年6月5日(月)

午後3時00分から午後4時40分まで

開催場所：越前町生涯学習センター2階会議室1

●出席者

- ・委員：16名（欠席者5名）
- ・事務局：4名

●議事概要

- ・新委員紹介（2名）
- ・会長あいさつ

協議事項（1）デマンドタクシー停留所の追加について

	資料に基づき、事務局説明
委員	利用開始はなぜ10月1日からなのか。もっと早くできないか。
事務局	速やかに開始できるよう進める。
委員	共存共栄も大切なので、地元タクシー事業者との協議も行うようお願いしたい。また、車両を停車する停留所箇所の調整についても関係機関と協議をお願いする。
事務局	要望があったからといってやみくもに増やすのではなく、真に必要と認められるものについて追加等行っていく。停車箇所についても関係機関と連絡を密にし、安全安心な運行に努める。
議長	資料が簡潔なので、協議が必要な理由や、どのような条件で追加を考えているのか町としての考えを記載するとよい。次回からお願いしたい。
採決	承認

協議事項（2）令和4年度事業報告及び決算について

	資料に基づき、事務局説明
委員	意見なし
採決	承認

協議事項（3）令和5年度事業計画及び予算について

	資料に基づき、事務局説明
--	--------------

議 長	予算(案)に申請予定の補助金が収入として計上されているが、確定した金額ではないと思うが、これで問題はないのか。
事務局	300万円は補助金の見込みとして予算計上している。会計上、問題はない。
委 員	次の協議事項No.4の資料になるが、P2の「3.目標を達成するために行う事業」に、協議会による「高齢者に対するモビリティマネジメントの実施」があげられているが、予算(案)に事業費があがっていない。どのように実施するのか。
議 長	次の協議事項の説明を聞いた方が分かりやすいのであれば、いったん採決を保留し、先に進めるがそれでよいか。
事務局	了承。

報告事項（2）令和4年度コミュニティバス及び路線バスの状況について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	路線バス維持支援補助金の算定基準は。
事務局	総運行距離と輸送単価で路線バス運行に係る費用を算出。国県補助や運賃収入を差し引いた赤字分を沿線市町で按分して補助している。
委 員	路線バス補助が2100万円増額したことは、運賃収入や通学定期購入が減ったことと関係はあるか。
事務局	通学定期の購入を控えたということは、その分運賃収入が下がったということになるので、多少関係はあると思われる。

報告事項（4）デマンドタクシー「チョイソコえちぜん」実績報告について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	利用者が徐々に増加している中、リピーターの割合が多いということを町ではどのように捉えているか。また、次の資料No.5 中部運輸局の二次評価で、期待する取組みに「高齢者の外出回数が減っていると考えられる」との指摘があるが、このことについて考察で触れられていない。
事務局	リピーターが多いからチョイソコえちぜんの利用が広まっているという認識はない。登録者の利用割合は3割程度で推移しており、町としてはリピーターに加え、より多くの方に利用していただくのがチョイソコえちぜんの広がりにつながると考えている。 二次評価の指摘の件については、チョイソコえちぜん1日あたりの利用人数が半期実績で5人/日であった。廃止したコミバス（巡回・乗合）は、廃止前で10人/日の利用があり、デマンドにしたことで利用増に繋がっていないのではないかと指摘を受けた。今年度については、10～12人/日を目標とし、利用が増えるようPR等を行い周知に力を入れていく。
議 長	チョイソコえちぜんが運行され、移動できるようになった人もいれば、移動できなくなった人もいるという分析か。
事務局	そのとおり。周知不足もあると思うが、対前年度で見ると減っているのではないかと指摘であった。
議 長	さらなる手段としてどのような広報を考えているか。

事務局	昨年度もワクチン接種会場等でPR活動を行っているが、今年度についても各地区で行われる健康診断や高齢者が集う場所で、利便性を伝えられるようなPR活動を行うほか、スマホ利用についても進めていきたい。
議長	他に利用する側や、運行サイドからの意見はありませんか。
委員	運行事業者として各市町の協議会に参加している。周知活動の事例になるが、南越前町ではスタート前に各地区の公民館に出向き、チョイソコの利用方法の説明を行ったと聞いている。他の市町でも地元の公民館単位での説明会を開催していると聞いているので、参考までに報告する。
委員	住民側の意見として、自分自身70歳を超えているが、現在自分で運転している。そのため、今はデマンドタクシーの内容や手続きのことまで正直目がいけない。しかし、10年先を考えると運転できなくなる人が増えてくる。80歳を超えスマホで登録や利用ができるかどうか。操作説明がいつでも知ることができる方法や、高齢でも簡単に利用できるシステムの改善を平行して行ってほしい。
議長	先を見据え、元気なうちにデジタルリテラシーを高めてもらうため、広報だけでなく、スマホの使い方や勉強会に取り組むことも必要。
委員	公共交通がさらに見直される時期にあると思うが、利用者の利便性を高めれば必然的に利用者は増える。今のコミバスとデマンドを残し、路線バスやタクシーと共存しながら利用者の利便性を図る政策をお願いしたい。

協議事項（4）生活交通確保維持改善計画について

	資料に基づき、事務局説明 委員より質問のあった計画にある「高齢者に対するモビリティマネジメントの実施」が事業費として予算(案)に反映されていないことについて、予算計上はしていないが、周知活動の中で高齢者向けに意識づくりを図る活動はしっかり行っていく。
委員	理解はしたが、周知活動に力を入れ利用者を増やしたいのであれば、活動費を持つことも検討してほしい。
議長	高齢者向けの移動手段というだけでなく、みなさんが利用できる移動手段として周知をお願いしたい。また、既存の公共交通と組み合わせたデマンドタクシーの周知をお願いする。
採決	協議事項（3）令和5年度事業計画及び予算について 承認
採決	協議事項（4）生活交通確保維持改善計画について 承認

報告事項（1）令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

	資料に基づき、事務局説明
議長	この評価を町ではどのように捉えて、今後どのように取り組んでいくか。
事務局	利用人数に関する指摘については、デマンドタクシーの利用の仕方などを具体

	的に周知、併せて廃止した路線の利用者の、現在の利用状況についても可能であれば調査していく。路線バスに関する指摘については、関係事業者との協議を進める。
--	---

報告事項（3）地域間幹線系統分析シートについて

	資料に基づき、事務局説明
議長	輸送量や乗車密度が危機的な状況（国庫補助の基準以下）にあるというところをご理解いただきたい。町が持続的な発展を遂げていこうと思うと路線を残すことが大切であり、住民の方に公共交通を利用していただくような機会づくりの創出をお願いしたい。
委員	<p>全体的な話になるが</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの輸送人数を保つため公共交通を利用する取り組みが必要。 ・越前地区は観光の町であるが、土日祝は公共交通の休みが多い。観光客が来やすい公共交通を。 ・越前地区から町外に行くために織田バスターミナルでの乗り換えが多い。 ・南越前町は 60%以上の町民が納得したうえで新しい公共交通が始まっている。越前町が参考にすることはないか。 ・コミバスを町外まで運行させるような他市町との連携を。 <p>広い視野に立って地域住民が納得できるような仕組みをお願いしたい。</p>

●その他

鯖江警察署	鯖江警察署と町が連携し、7月に越前町役場および各コミュニティセンターにおいて、運転免許自主返納の臨時窓口を開設する。自主返納と町の支援事業（コミバスの無料乗車券等）の手続きが同じ場所で行える。委員の皆様も周囲にぜひご案内いただきたい。
-------	---